

JAIA F☆☆☆☆  
環境対応接着剤

ダイアボンド No.103

ダイアボンドNo.103は、ポリウレタン系 2液形接着剤で、軟質塩化ビニール相互の接着に優れます。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. トルエン，キシレンを使用しておりません。
3. 常温硬化性で耐熱，耐寒，耐水，耐薬品性，初期接着性に優れます。
4. 皮膜は透明性を有し、淡色製品の接着に好適です。
5. 可塑剤の移行が少なく、耐油性に優れます。

§ 用途

1. 軟質ビニール製品の接着
2. ウレタンフォームなど各種断熱材の接着
3. その他 繊維，皮革，木材，紙，スレートの接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分		ポリウレタン
外 観		淡黄色透明
不 揮 発 分 (%)		19 ± 1.5
粘 度 (mPa·s)	at20℃	2,000 ~ 4,500
指触乾燥時間 (分)	at20℃	2 ~ 4
粘着保持時間 (分)	at20℃	10 ~ 20
保 証 期 間 (月)	at25℃	12
硬化剤の混合比 [ダイアボンドHL]		100 : 10~14
可 使 時 間 (時間)	at20℃	2
硬 化 時 間 (時間)	at20℃	24
引 火 点 (℃)		-4
発 火 点 (℃)		427

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し，汚れのないよう清浄にします。
2. 接着剤の調整 主剤：硬化剤 [ダイアボンドHL] を 100 : 10~14 の割合で十分に混合します。
3. 塗 布 方 法 刷毛などで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。  
塗布量は，片面当たり 150~200 g/m<sup>2</sup> (両面で 300~400 g/m<sup>2</sup>) 塗布して下さい。
4. は り 合 せ 常温にて 10~15 分間乾燥してからはり合せます。
5. 加 圧 はり合せ後，充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. はく離強さ (N/25mm)

		S・PVC/S・PVC	S・PVC/合板	PU・F/不織布
常 態	24時間	100 *	28	18 *
	48時間	110 *	32	18 *
	96時間	120 *	35	18 *
熱老化	70℃・96時間	120 *	68	18 *
耐 熱	80℃	50 *	15	10 *
耐 寒	-20℃	130 *	65	18 *
耐 水	48時間	100 *	52	16 *

\* : 材質破壊      S・PVC : 軟質塩化ビニルシート      PU・F : ポリウレタンフォーム  
試験方法 : JIS K 6854 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	140 ~ 170 °C
3 日 目	200 °C 以上
5 日 目	200 °C 以上

試験方法 : JIS K6833 に準ずる

## § 注意事項

- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を注ぎ、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 低温下では結晶化しますので注意して下さい。結晶化した場合は、温浴などにより加熱しますと元に戻りますので、加熱融解後、均一な層になるまで十分に攪拌してからご使用下さい。
- ・ 器具の洗浄には酢酸エチルやメチルエチルケトンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。